

授業改善書

科目名	保育方法論
担当者	尾形和男

授業の概要

幼稚園，保育所，認定こども園においてこれからの社会を担う個々の子どもの持つ能力を伸ばすために保育をどのように展開して行ったら良いのか。その基本的な方法・技術（情報機器及び教材の活用を含む）・教材の活用方法についての基礎的な知識・技能を身につける。

授業の問題点

上記の授業の概要に沿った授業構成を行った。授業の後半では保育に関する最近の問題について学生主体の取り組みを行った。具体的にはグループを構成し、保育園での子どもの様子を観察し、その中からいじめとそれに対する保育士の対応について良い点と改善すべきことと考えられる点について話し合い、意見交換した。

しかし、後半の時間帯において、自分たちの関心のある保育問題について自由に持ち上げ意見交換に基づいてまとめたものをパワーポイントによるプレゼンテーションを行ったものの、9班の中で同じテーマを取り上げた班が多く見られ、話題としては少々偏ってしまった観がある。

学生の授業満足度

満足度については4点に近く、それなりの満足度はあったと思われるものの、もう少し高い値でも良かったと思われる。

上記の問題点にもあるように、講義の最終部分は学生主体の発表にもかかわらず、話題が偏ったために、教員の側からの説明なども同じ話になりがちであった。このようなことが原因のひとつとして挙げられると思われるので今後の課題としたい。

授業改善の課題と方策

学生の授業満足度と関連するが、アクティブラーニングの一環として学生主体のグループによる学習と発表を取り入れる際に、各グループで関心のある内容についてできる限り重複の内容に最大限配慮し、発表の内容を広げ、教員側からの説明などを多く入れるように工夫したいと考える。

その他

授業改善書

科目名	保育・職実践演習(幼小)
担当者	尾形和男・笠井かほる・高橋誠

授業の概要

将来的に 教育・保育の現場において十分に対応できる能力を身に付けることが重要である。このような最終目的に沿うために次のことを具体的な狙いとする。教職課程・保育士養成課程の履修やさまざまな活動を通して教員・保育士として最小限必要な資質能力が形成されたかという事について確認する。そのために 教員・保育士になる上で自己にとっての課題を自覚し不足している知識や技能を補い その定着を図る。

授業の問題点

3名の担当者により授業を構成した。それぞれの専門性を生かし当該演習の目的をできるだけ達成できるように努めた。しかし、全体として明示されているような目標に到達するのはかなり厳しいと思われる。今回はあくまでも目標到達のための基礎的な部分での授業展開と、今後に向けた発展的な内容に配慮したが、十分な事前の打ち合わせが不足しているように思われる。

学生の授業満足度

授業そのものに対する学生の満足度は比較的高く、得られるものも多くあったかと思われる。これは今までの授業の中で扱っていないより現実的で実践的な問題にテーマを絞り学生の興味関心を引いたからだと思われる。

授業改善の課題と方策

授業の内容については学生の興味・関心を引くものであり、改めて考えてみる必要性のある内容や、より現実的な内容であったと思われるものの、今後はより学生の将来の専門性を確立する立場に立った内容の構成を検討したい。

同時に、担当者間の連絡協議に基づき、ひとつのテーマを挙げてそれについての内容の検討も十分にあり得ると考える。

その他